

最適化効果指標・サービス指標一覧
(地震津波監視等業務・システム)

別紙 2

2006年(平成18年)8月25日
国土交通省情報化政策委員会決定
2007年(平成19年)8月23日改定

1 最適化共通効果指標

(1) 最適化共通効果指標

削減経費(単位:千円)

	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
最適化実施前の経費(a)	934,390	934,390 (a') 30,439	934,390 (a") 595,936	934,390	934,390
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	11,038	231,605	366,027	371,456
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	19,401 (a')-(b)	364,331 (a")-(b)	568,363	562,934
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-				
削減経費(実績値)((a)-(c))	-				

2007~2010年度は最適化実施済み及び実施分のみ計上((a')(a")は最適化実施済み及び実施分に相当する最適化実施前の経費)

- 1 新EPOS(単位:千円)

	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
最適化実施前の経費(a)	611,039	611,039 (a') 30,439	611,039 (a") 488,152	611,039	611,039
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	11,038	196,821	261,676	267,105
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	19,401 (a')-(b)	291,331 (a")-(b)	349,363	343,934
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-				
削減経費(実績値)((a)-(c))	-				

2008年度は大阪EPOSの最適化実施分のみ計上((a')は1ヶ月分に相当する最適化実施前の経費)

2009年度は最適化実施分のみ計上((a")は大阪EPOSの1年分と本庁EPOSの6ヶ月分に相当する最適化実施前の経費)

2010年度は3月から本庁の津波・北西サーバー運用開始

- 2 新REDC(単位:千円)

	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
最適化実施前の経費(a)	323,351	323,351	323,351 (a') 107,784	323,351	323,351
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	-	34,784	104,351	104,351
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	-	73,000 (a')-(b)	219,000	219,000
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-	-			
削減経費(実績値)((a)-(c))	-	-			

2009年度は最適化実施分(12~3月)のみ計上((a')は4ヶ月分に相当する最適化実施前の経費)

削減業務処理時間（単位：時間）

	2005年度		2010年度		
	最適化実施前の 業務処理時間 (a)	最適化実施後の 業務処理時間 (試算値)(b)	削減業務処理 時間(目標値) (a)-(b)	最適化実施後の 業務処理時間 (実績値)(c)	削減業務処理 時間(実績値) (a)-(c)
時 間	47,600	46,000	1,600		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	148,750	143,750	5,000	0	0

(2) 最適化個別効果指標

主要課題	最適化の実施内容	最適化個別効果指標	計算式
迅速かつ的確な情報発表	システム統合による効率的な処理の実施	震源確定に要する管区との調整時間	震源確定に要する管区との調整時間
迅速かつ的確な情報発表	システム統合による効率的な処理の実施	津波予報内容についての管区との調整時間	津波予報内容についての管区との調整時間

震源確定に要する管区との調整時間（単位：秒）

		最適化実施前	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
		2005年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
地震活動等総合監視システム（新EPOS）	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	50					
	算出式	1	1	1	1	1	1

1 震源確定に要する管区との調整時間

津波予報内容についての管区との調整時間（単位：秒）

		最適化実施前	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
		2005年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
地震活動等総合監視システム（新EPOS）	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	30					
	算出式	2	2	2	2	2	2

2 津波予報内容についての管区との調整時間

2 サービス指標

(1) 共通サービス指標

稼働率（単位：％）【計算式：「実稼働時間」 / 「予定稼働時間」 × 100】

システム		2005 年度 実施前	2010 年度	2010年度												20dd 年度	...	20nn 年度	
				平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				3月
地震活動等総合監視システム（新EPOS）	目標値		99.999																
	実績値	99.746																	
	算出式	1	2																

システム		2005 年度 実施前	2009 年度	2009年度												20dd 年度	...	20nn 年度	
				平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				3月
地域地震情報センター処理システム（新REDC）	目標値		99.999																
	実績値	99.972																	
	算出式	3	4																
	目標値																		
	実績値																		
	算出式																		

- 1 本庁EPOS及び各管区ETOSで情報発表可能時間(各サーバーの主機が正常な時間) / 1年(31536000秒)
- 2 新EPOSでの情報発表可能時間(各サーバーの主機が正常な時間) / 1年(31536000秒)
- 3 本庁REDC及び各管区REDCで震源計算可能時間(地震サーバーが正常な時間) / 1年(31536000秒)
- 4 新REDCでの震源計算可能時間(地震サーバーが正常な時間) / 1年(31536000秒)